

森のものがたり ～なよろ健康の森の植物たち～

Vol.3

なよろ健康の森では、季節によってどんな花が咲いているのか、どんな植物が生息しているのかなど、なよろ健康の森を彩る植物の魅力について4回に渡ってご紹介していきます。

3回目となる今回は、秋に紅葉・結実する植物についてご紹介します。

イチイ(イチイ科) 結実時期 9～10月

常緑針葉樹(*)で葉の裏に赤い実をつける。果肉は甘く食べることができるが、種には毒があるため飲み込んではいけません。北海道や北東北では「オンコ」と呼ばれている。



(※)常緑針葉樹とは、年間を通して葉を一齐に落とす時期がない木で針状の細長い葉を持つもの。

生息場所：なよろ健康の森全域

イチヨウ(イチヨウ科) 黄葉時期 10月

葉はおうぎ形で、切れ込みが入っており、秋になると緑色から黄色になる。種は黄色で、外側の皮は独特なおいがる。この皮に包まれた固い部分は、かの有名な「ギンナン」である。生息場所：ヘルシー小路など

オニグルミ(クルミ科)

結実・落果時期 9～10月 (開花時期 5～6月)

オニグルミの果実は熟すと外側がシワシワの袋状になり、その中からクルミらしいものが出てくる。食べることができる部分はさらにこの中の実である。

栄養価が高く、野生動物に人気の食べ物である。

オニグルミの「オニ」は、種の表面の模様が鬼の顔に見えることなどからつけられた。

生息場所：きらきら池の近辺など



ハウチワカエデ(ムクロジ科)

紅葉時期 10月 (開花時期 4～5月)

日本のカエデでは最も大きな葉を持ち、10月ぐらいから美しい紅葉が始まる。葉の形を、天狗が持っている羽根で作ったうちわに例えている。



別名「メイゲツカエデ (名月楓)」とも呼ばれる。

生息場所：丘の広場など

トドマツ(マツ科) 結実時期 10月

樹皮は、灰褐色でなめらかなのが特徴である。果実である松ぼっくりは、細長く縦に上向きにつく。

北海道では庭木として使われ、クリスマスツリーや門松になることもある。

生息場所：出逢いの森など

生息場所(なよろ健康の森マップ)

は次のコードから確認できます▶



見たり聞いたりしたことがある植物もあったのではないのでしょうか。

この他にも、なよろ健康の森にはたくさんの植物が生息しています。ぜひ皆さんも散策してみてください。

※このコーナーは「森のものがたり“なよろ健康の森”」(作/蓑島魏氏)を参考にしています。

★問い合わせ★ 耕地林務課 (風連庁舎1階) ☎01655③2511 (内線2323)